

2. 冷却水補充

基準 クーラント濃度は各地の最低気温に応じた濃度に調整する。

濃度 30% (−12℃)

濃度 50% (−35℃)

(1) ラジエータ ドレン プラグを閉じて、冷却水をラジエータ注入口よりあふれるまで注入する。

参考・ラジエータ インレット ホースおよびラジエータ アウトレット ホースを手で数回圧迫し、ラジエータ注入口の水位が下がるようであれば追加注入する。

(2) ラジエータ キャップを閉める。

(3) ラジエータ リザーブ タンクに冷却水を上限まで注入する。

(4) エンジンをサーモスタットが開弁するまで暖機する。

(5) エンジンを止め、冷却水が冷えるまで待ち、ラジエータ キャップを外して水位を確認する。

(6) 水位が下がってる場合は、(1)の手順より繰り返す。

(7) 水位が下がらなくなったら、ラジエータ リザーブ タンクの冷却水を調整する。

(8) 冷却水の漏れがないか点検を行う。

(B1.1-2-1(2)項 (B1-3 ページ) 参照)

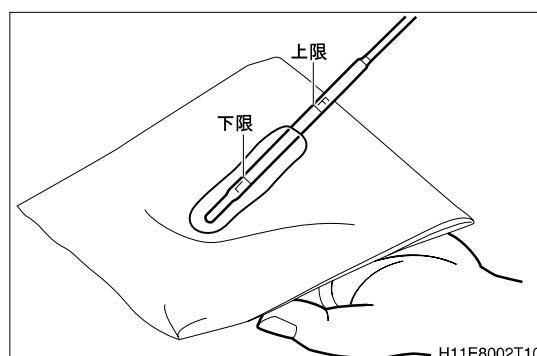
1-2-3 エンジン オイル量点検

1. エンジンを停止し、平坦な場所で点検を行う。

2. オイル レベル ゲージを抜き取り、付着しているオイルを拭いてから再び差し込む。

3. オイル量が下限(L)と上限(F)の間にあるかを点検する。

4. オイル レベル ゲージに付着したオイルで汚れ具合を点検する。



1-2-4 エンジン オイル漏れ点検

1. シリンダ ヘッド カバー、オイル パン、ドレン プラグなどから油漏れがないかを目視により点検する。

